

## 富達通科技が 新しいワイヤレス電源制御 IC を発表

2009/09/01 -台北、台湾

富達通科技が 新しいワイヤレス電源制御 IC を発表しました。前作製品の高効率制御とセキュリティ機能を継承して、価格は前の3分の1で、その中の送電側制御 IC の定価は2ドル未満になりました。

送電側制御 IC  $\alpha 3$  は小さな  $6 * 3.9 \text{ mm}$  の SOIC 8 パッケージで、標準の動作電圧は  $5 \text{ V}$ 、主な機能はワイヤレス送電コイルの共鳴コントロール、オーバーロード保護、目標認識、電源出力の自動調整、電源供給のステータスを LED ディスプレイなど。操作周波数は  $50 \text{ kHz} \sim 500 \text{ kHz}$  ですが、制御 IC が自動的に識別目標の電源要求にて 送電の周波数を最適な値に調整します。待機状態で 制御 IC の消費電流は  $0.5 \text{ mA}$  です。この IC でデザインしたの  $20 \text{ W}$  送電モジュールなら 待機消費は  $1 \text{ mA}$  以下になります。

受電側制御 IC  $\beta 3$  は 小さな  $4 * 4 \text{ mm}$  の QFN パッケージで モバイル装置を簡単対応のために設計したのです。送電側からの標準操作電圧は  $5 \text{ V}$ 、ワイヤレス電源ユニットが動作しないとき、受電制御 IC は電力も消費しない。 $\beta 3$  の主な機能は 電圧偵察と電源供給ステータス信号フィードバック、受電装置コード信号フィードバック、電力需要信号フィードバック、オーバーロードの保護、およびその他の機能も持つ。

このワイヤレス電源制御 IC シリーズは  $1 \sim 20 \text{ W}$  のモジュールに設計することができます。主に異なるコイルと MOSFET 電源コンポーネントを構成して、 $5 \text{ W}$  電源供給モジュールのコストが6ドル以下となります、 $10 \text{ W}$  モジュールが9ドル未満になります。この価格は ワイヤレス電源供給システム製品アップグレードの難しさを大幅に削減しても、システムの有効性を保持 (70%の変換効率とセキュリティ機能) まだ、コイルの設計は、前作と同じ 磁石の吸着を使用する必要はなくても 電力供給することができます。

富達通科技が同時に 開発キットを導入し、アプリケーション回路図とコイルの設計仕様も提供します。その IC 開発キットには 送受信 IC 回路基板の完成品と感応コイルを含む。開発人員なら そのキットをを購入、開発キットの PCB レイアウトを参照して、製品をデザインすることができます。そのサンプルは 2011 年 11 月末から供給の予定します。

開発キットと IC の価格:

送電制御 IC  $\alpha 3$  1.99 ドル

受電制御 IC  $\beta 3$  0.99 ドル

開発キット 200 ドル

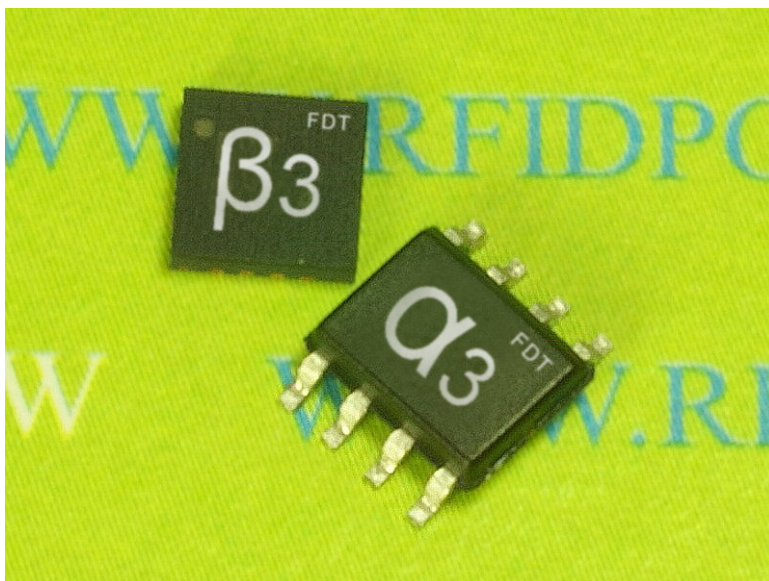


図 1 IC 写真

富達通科技について

2007年9月に創立して、無線充電・非接触電力伝送システム開発の設計に尽くして、現在すでに第2世代の無線充電の制御 IC を使って、関連技術は多くの国で特許をとられました。

更に多くの情報は 富達通科技のサイトへ:<http://www.rfidpower.com.tw/>